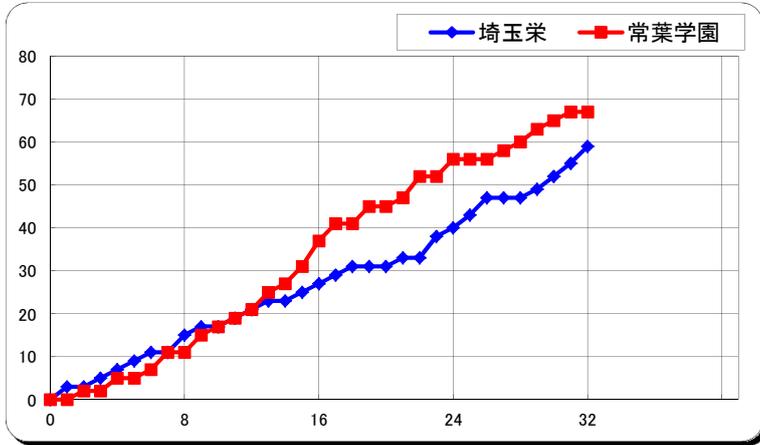




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会																
会場	さいたま市記念総合体育館																
日時	平成24年8月22日(水) 12:10																
コート	Dコート	第3試合															
カテゴリ	女子	予選リーグ															
主審	平林 達哉 (福島県)																
副審	小出 聡子 (京都府)																
Team A		Team B															
埼玉栄	59	67 常葉学園															
(埼玉県)		(静岡県)															
	<table border="1"> <tr><td>15</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>26</td></tr> <tr><td>13</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>19</td><td>4th</td><td>11</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	15	1st	11	12	2nd	26	13	3rd	19	19	4th	11	OT			
15	1st	11															
12	2nd	26															
13	3rd	19															
19	4th	11															
OT																	

【BOXスコア】

Team A		埼玉栄						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	佐々木 春奈	×	8	0	4	0	2	
5	古川 夢子	×	16	0	7	2	1	
6	亦野 朋香	×	16	0	7	2	3	
7	島田 茜	DNP	0	0	0	0	0	
8	篠原 理那	DNP	0	0	0	0	0	
9	中屋 明	DNP	0	0	0	0	0	
10	角田 祐季	DNP	0	0	0	0	0	
11	馬場 なな子	DNP	0	0	0	0	0	
12	相澤 奏音	DNP	0	0	0	0	0	
13	弘重 綾野	×	5	0	2	1	1	
14	梶原 理奈	×	9	0	3	3	1	
15	山岸 奈々	DNP	0	0	0	0	0	
16	上澤 瑛	DNP	0	0	0	0	0	
17	高橋 理佐	/	0	0	0	0	0	
18	神山 夢来	/	5	1	1	0	0	
監督	一ノ瀬和之						0	
コーチ	中山明日実						0	
合計			59	1	24	8	8	

Team B		常葉学園						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	篠宮 杏奈	×	22	1	8	3	4	
5	見崎 南美	×	17	0	7	3	3	
6	柴 美佑	×	2	0	1	0	4	
7	大瀧 菜月	/	0	0	0	0	0	
8	小泉 友里	DNP	0	0	0	0	0	
9	齊藤 志帆	DNP	0	0	0	0	0	
10	松永 美樹	DNP	0	0	0	0	0	
11	花村 みなみ	DNP	0	0	0	0	0	
12	伊東 ひかる	×	11	1	3	2	1	
13	高橋 夏瑠	×	15	1	6	0	2	
14	木立 野斗	DNP	0	0	0	0	0	
15	造酒 祐香	DNP	0	0	0	0	0	
16	伊東 かおる	/	0	0	0	0	0	
17	渡邊 侑季	DNP	0	0	0	0	0	
18	野本 陽香	DNP	0	0	0	0	0	
監督	小前 宏史						0	
コーチ	佐野 恵子						0	
合計			67	3	25	8	14	

初戦を勝ち上がり勢いに乗る埼玉栄と、この試合が初戦となる東海2位の古豪常葉。1Q、両者マンツーマンでスタート。埼玉栄は#5、#6のポストプレイや#13のドライブで得点を重ねる。対する常葉は#4のシュートを中心にオフェンスを展開、#12、#13のジャンプシュートで得点を狙うがリングに嫌われる。15対11と埼玉栄が4点リードで終了。2Qはじめ、常葉はディフェンスからチャンスをうかがう。オールコートのマンツーマンにディフェンスを変え、プレッシャーを強め埼玉栄#13のボール運びにプレッシャーをかけ、常葉#12、#13のジャンプシュートで攻める。ピリオド開始3分常葉#5のシュートで同点。残り5'30常葉#4の得点で逆転に成功。埼玉栄も食らいつこうと#5、6を中心にインサイドでオフェンスを展開するも、常葉のディフェンスをやぶれない。残り2'25常葉タイムアウト後さらにプレッシャーを強め、ターンオーバーを誘い得点を重ね8点リード。残り1'17もう一度、常葉はタイムアウト。ディフェンスの確認を行い、常葉10点リードでピリオドを終える。

3Q、埼玉栄は#6のインサイドを中心に#5、#14のポストプレイでのオフェンスを試みるも、機動力に勝る常葉のディフェンスに阻まれる。残り5分、14点差まで開き、二試合目の埼玉栄のインサイド陣に疲労がみられる。その後も果敢なディフェンスリバウンドから得点を重ね17点差まで得点差が開き、埼玉栄40対56常葉でこのピリオドを終える。4Q、常葉#4に対しボックスワンを敷いた埼玉栄。#13の3Pが決まりいいリズムでこのピリオドをスタートするも、常葉の堅実なディフェンスに阻まれる。埼玉栄#5の連続得点で得点を縮めるも常葉#13の連続得点で引き離す。残り2分埼玉栄がプレッシャーを強める8点差まで追上げるも、無情にも時間となる。初戦の常葉が機動力を生かしたディフェンスで埼玉栄を上回る、はつらつとした試合だった。

【戦評記入者】

齊藤 耕太郎

埼玉県中学校体育連盟 バスケットボール専門部